

広教統合教材管理システム

Google Classroom連携マニュアル
Ver1.9

はじめに

重要) 連携を始める前に以下をご確認ください。

- ✓ Google Workspace を導入されていますか
- ✓ Google Classroomをお使いですか
- ✓ お使いのドメインでのGoogle Admin Consoleの管理権限はお持ちですか
- ✓ お使いのドメインでのGoogle Cloud Platformの管理権限はお持ちですか

注意) Google連携にあたって、次の情報を取得します。

- ・組織部門の取得
- ・ドメイン内のGoogle Classroomと先生／生徒情報の取得
※広教側からGoogle Workspaceに対しての書き込みはありません (参照のみ)

目次

1) ご利用開始までの流れ

2) サービスアカウントの設定

Google Cloud Platform

- ・ サービスアカウント作成
- ・ 認証ファイル (.JSON) のダウンロード
- ・ APIライブラリを有効化する

Google Admin Console

- ・ Google Classroomの有効化設定 (スコープの設定)

3) 広教管理センターの設定

- ・ Google Cloud Platformでダウンロードした認証ファイル (.JSON) のアップロード
- ・ Google特権管理者のアドレスを設定
- ・ 同期結果通知アドレスの設定 (任意)
- ・ 組織部門からGoogleユーザーの同期

1) ご利用開始までの流れ

まずは、当社へご利用のお申込みをしてください。



①Google連携のお申込み



②教育委員会管理者IDのご案内

つぎにご登録作業です。



教育委員会
Google管理者様

③GCP・GACの設定

Google Cloud Platform

- ・サービスアカウント作成
- ・認証ファイル (.JSON) のダウンロード
- ・APIライブラリを有効化する

Google Admin Console

- ・Google Classroomの有効化設定 (スコープの設定)

④アカウントキー
の取得

⑤広教システムへログイン

広教管理センター

- ⑥サービスアカウント (キー) 登録
代理ユーザー情報登録
結果のメール通知先登録 (任意)

⑦OU設定

⑧先生ユーザーのみ取得/すべてのユーザー取得の選択

⑨ユーザー取得

- ⑩同期結果のメール通知
⑪全ユーザー取得の場合同期完了後、CSVで先生ユーザー
に先生権限付与

Google API

⑫各学校の先生がNetモラルで使用する学校・
クラスの登録

2) サービスアカウントの設定

まずはサービスアカウント作成を行います。

<https://console.cloud.google.com/>

Google Cloud Platform の開始

守へようこそ

Google Cloud Platform のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを1か所で作成し、管理します。

国
日本

利用規約
 私は、Google Cloud Platform の利用規約、および適用されるサービスとAPIの利用規約に同意します。

最新情報をメールで通知
 Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

同意して続行

利用規約に同意し【同意して続行】を選択します。



Google Cloud をどのように使用する予定ですか?

該当するものすべてを選択してください。お探しのものが迅速に見つかるよう、この情報を使用して関連するプロダクトやサービスを表示します。

コンピューティングリソースを作成してデプロイする

ネットワークアーキテクチャを管理する

データを保存する

データを分析する

システムとデータを保護する

システムのモニタリング、管理、診断を行う

機械学習モデルを作成、管理する

費用を管理する

その他

組織向けに Google Cloud を設定する場合は、次を選択してください。アカウントの構成、管理を行う

アカウントの構成、管理を行う

スキップ 送信

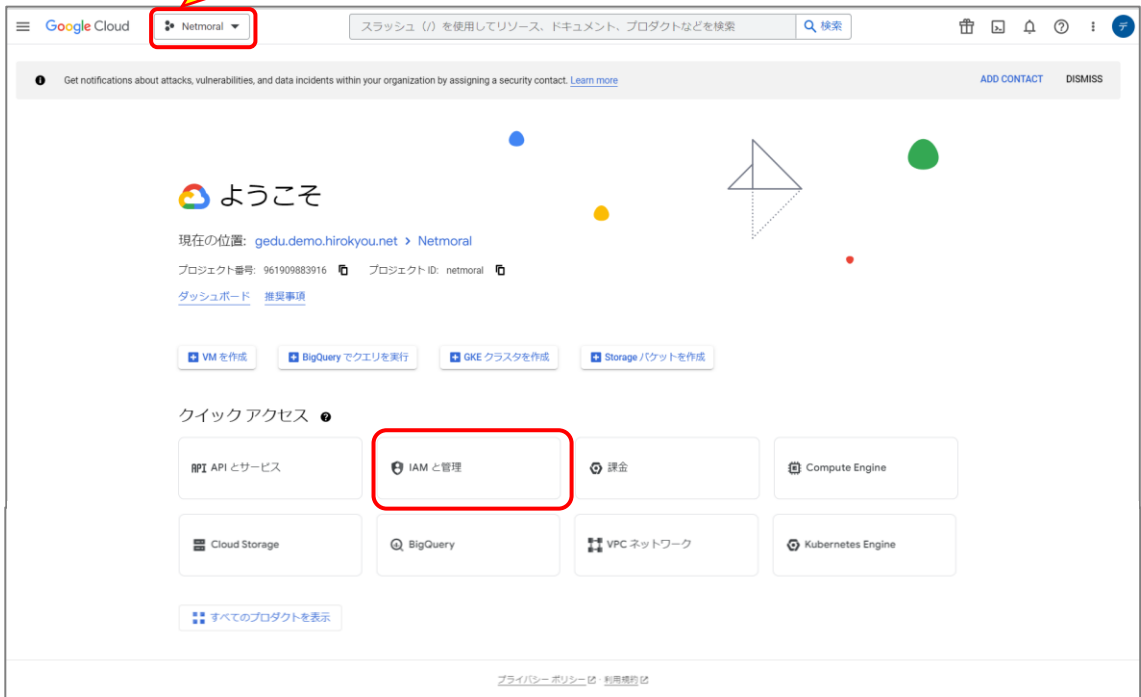
【スキップ】を選択します。

2) サービスアカウントの設定



画面メニューの【▼】→【新しいプロジェクト】を選択します。
プロジェクト名に「Netmoral」と入力して【作成】を選択します。

※上記で作成した
プロジェクトか要確認



上記で作成したプロジェクトを選択しているのを確認し【IAMと管理】を選択します。

2) サービスアカウントの設定



【IAMと管理】から【サービスアカウント】を選択し
→【サービスアカウントを作成】を選択します。

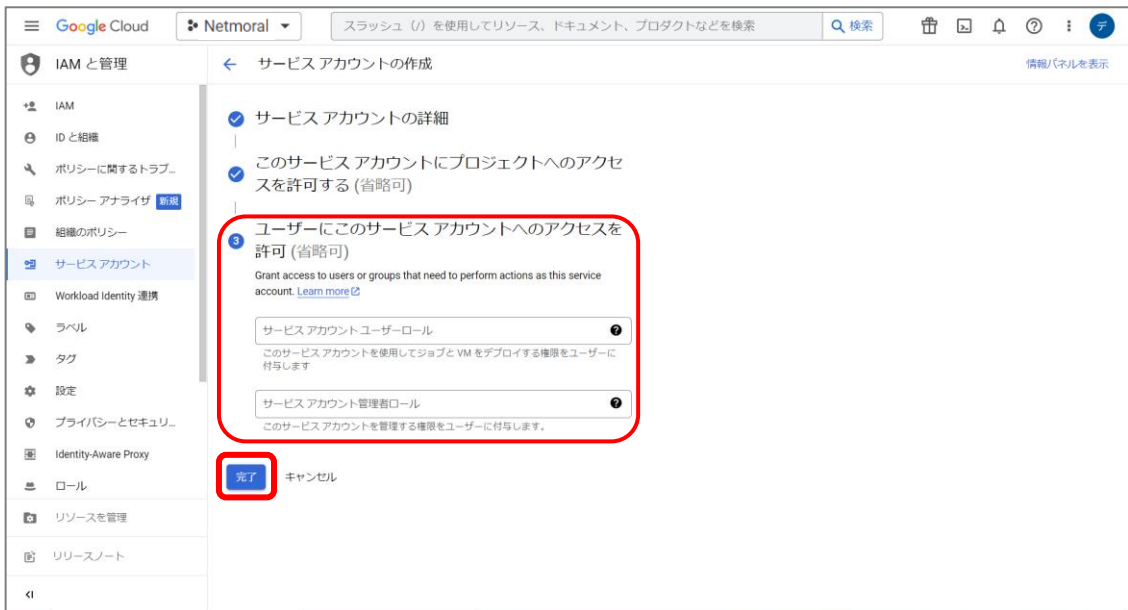


サービスアカウントの詳細を入力します。

2) サービスアカウントの設定



ロールを「オーナー」にし「完了」を選択します。



③の項目は空白のまま、【完了】を選択します。

2) サービスアカウントの設定



The screenshot shows the Google Cloud IAM console for the project 'SumiProject1'. The left sidebar contains navigation options like 'IAM', 'IDと組織', and 'サービスアカウント'. The main content area is titled 'サービスアカウント' and shows a table of service accounts. A red box highlights the table header and the first row.

メール	ステータス	名前	説明	キー ID	キーの作成日	OAuth 2 クライアント ID	操作
[redacted]	✓	Netmoral	広教教材サービス	キーがありません		[redacted]	[redacted]

以上で、サービスアカウント作成が完成しました。

2) サービスアカウントの設定

つぎに、認証ファイル (.JSON) をダウンロードします。

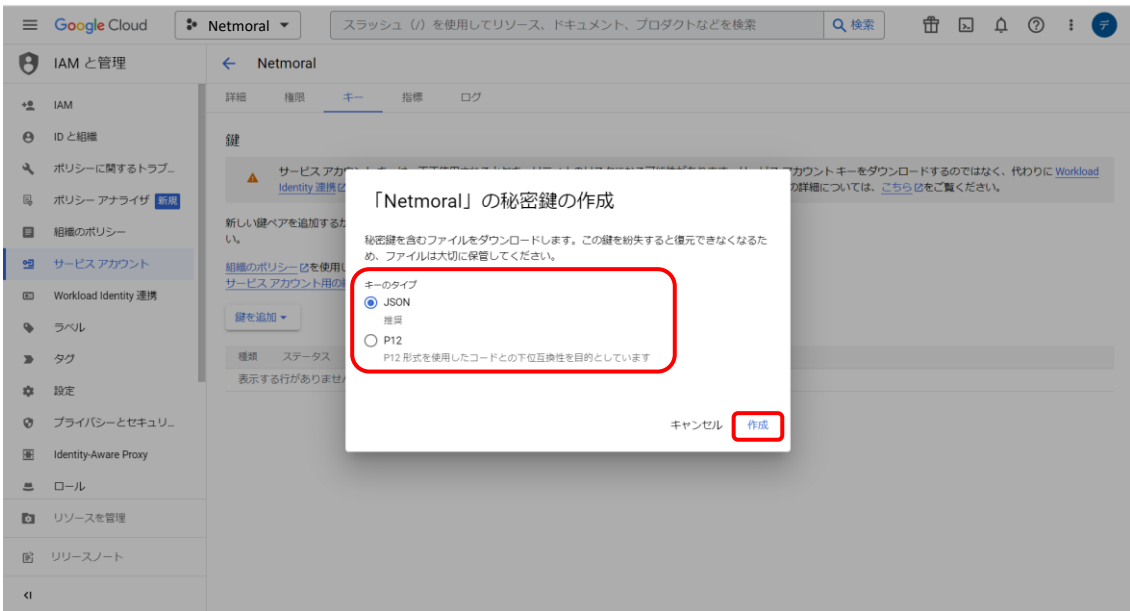


作成したサービスアカウントの右にある操作から、「鍵を管理」を選択します。

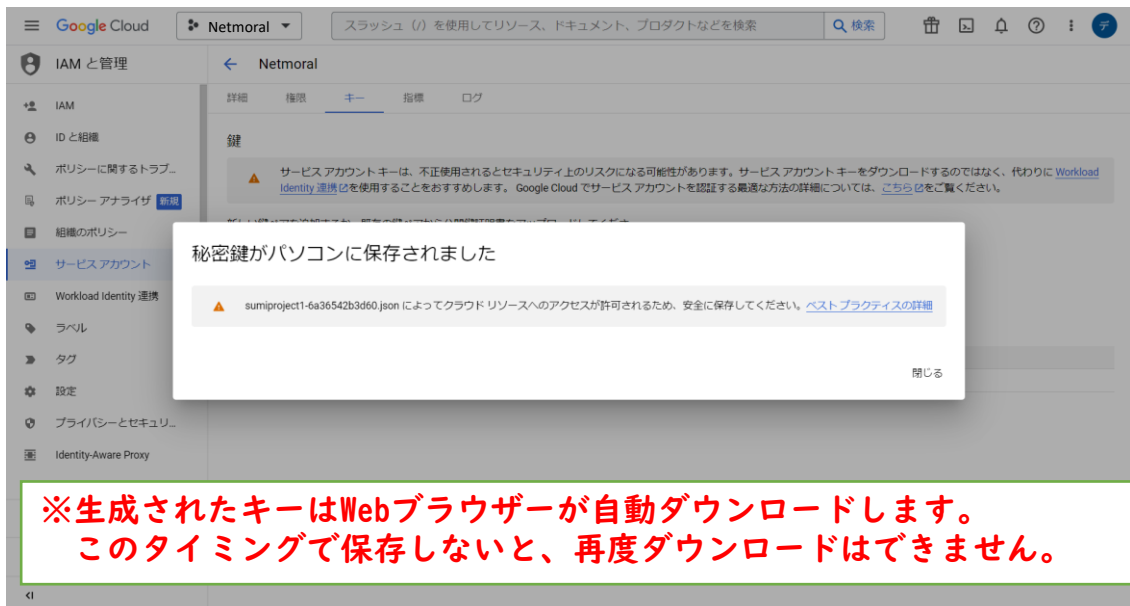


「キー」メニューの「鍵を追加」から「新しい鍵を作成」を選択します。

2) サービスアカウントの設定



キーのタイプは「JSON」を選択し、作成をクリックします。

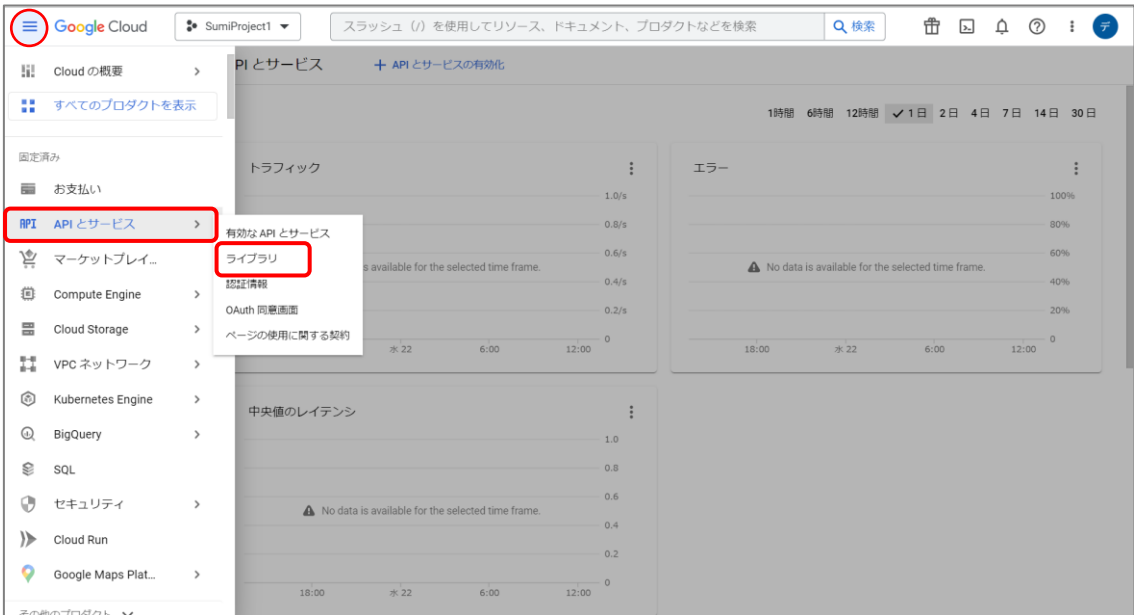


※生成されたキーはWebブラウザが自動ダウンロードします。
このタイミングで保存しないと、再度ダウンロードはできません。

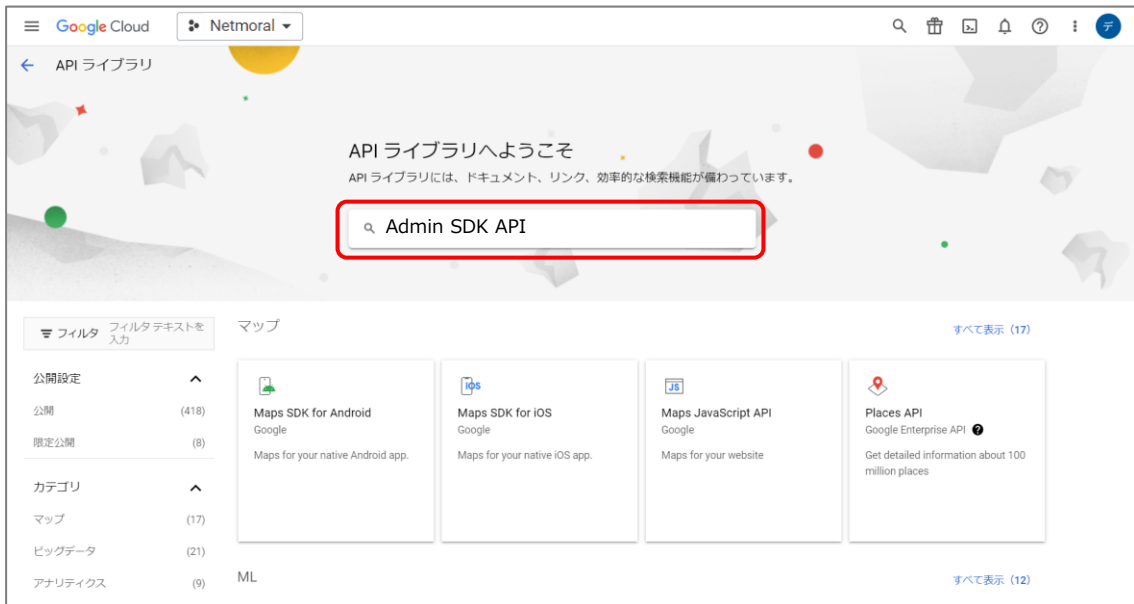
※このファイルは必ず保存してください。
広教管理センターと連携するときに必要です。

2) サービスアカウントの設定

2つのAPIの有効化します。はじめにAdmin SDK APIを有効にします。

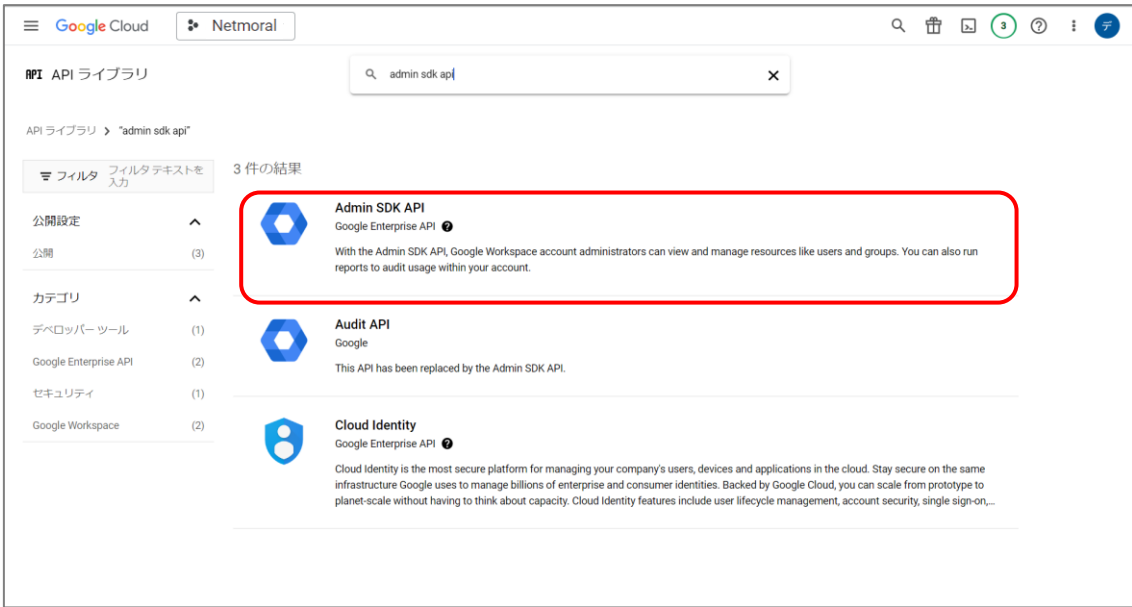


Google Cloud Platform 上で [APIとサービス] を表示し「ライブラリ」を選択します。

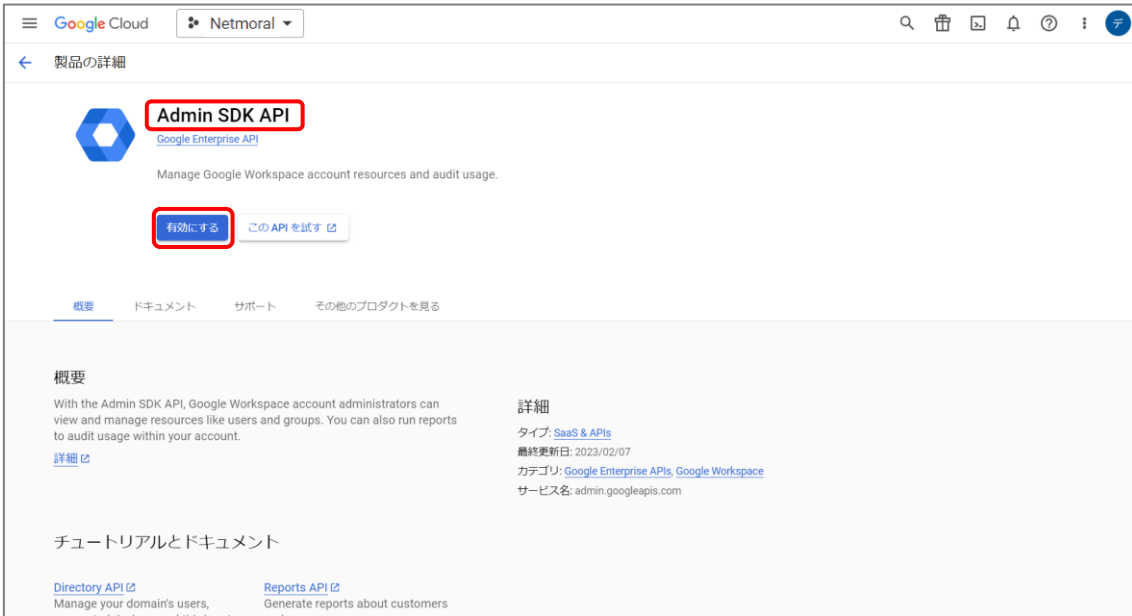


” Admin SDK API” を検索します。

2) サービスアカウントの設定



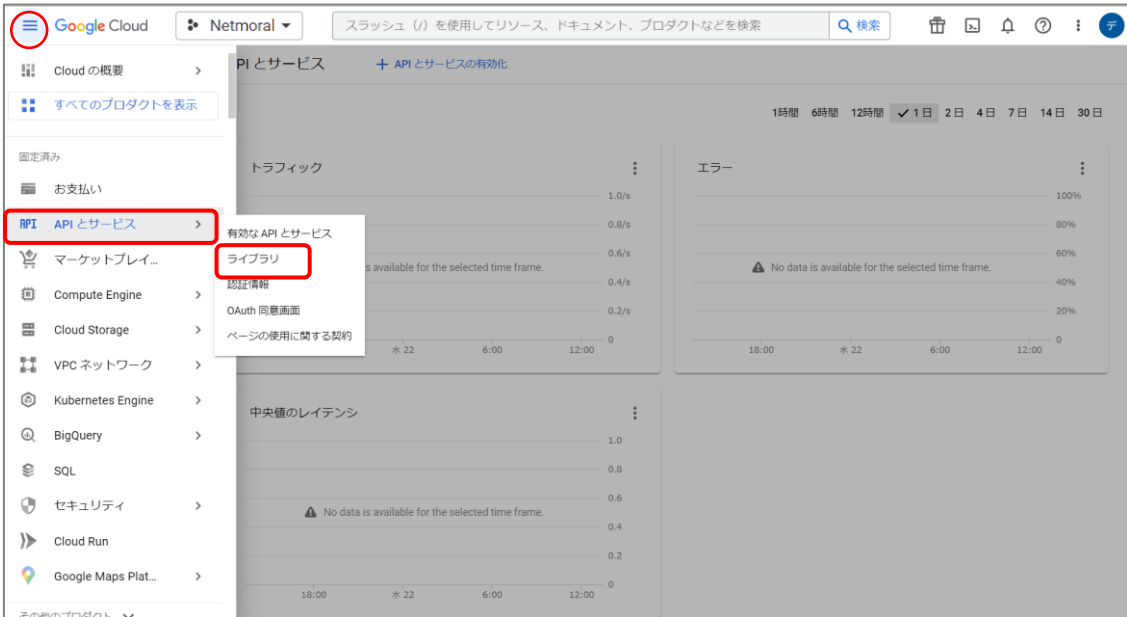
Admin SCK APIを選択します。



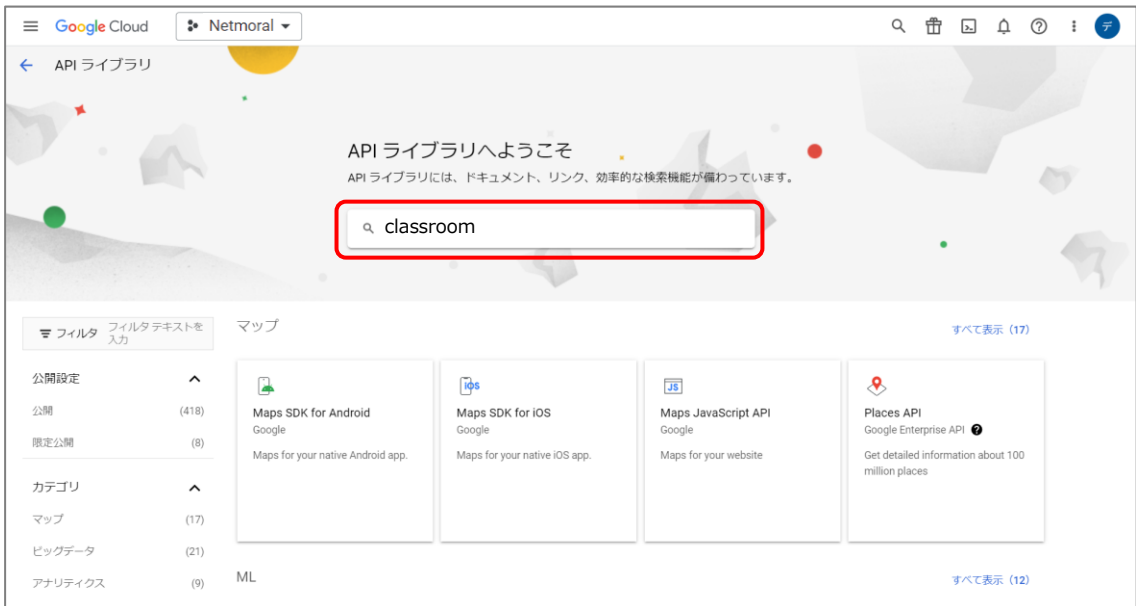
Admin SCK APIで「有効にする」を選択します。

2) サービスアカウントの設定

続いて、Google Classroom APIの有効化します。

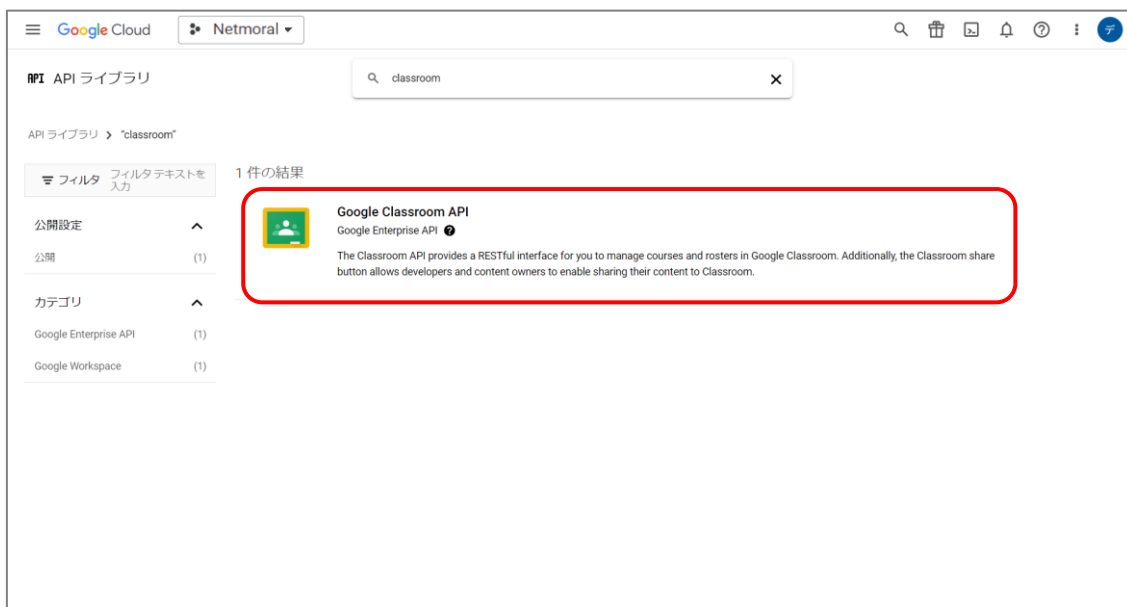


Google Cloud Platform 上で [APIとサービス] を表示し「ライブラリ」を選択します。

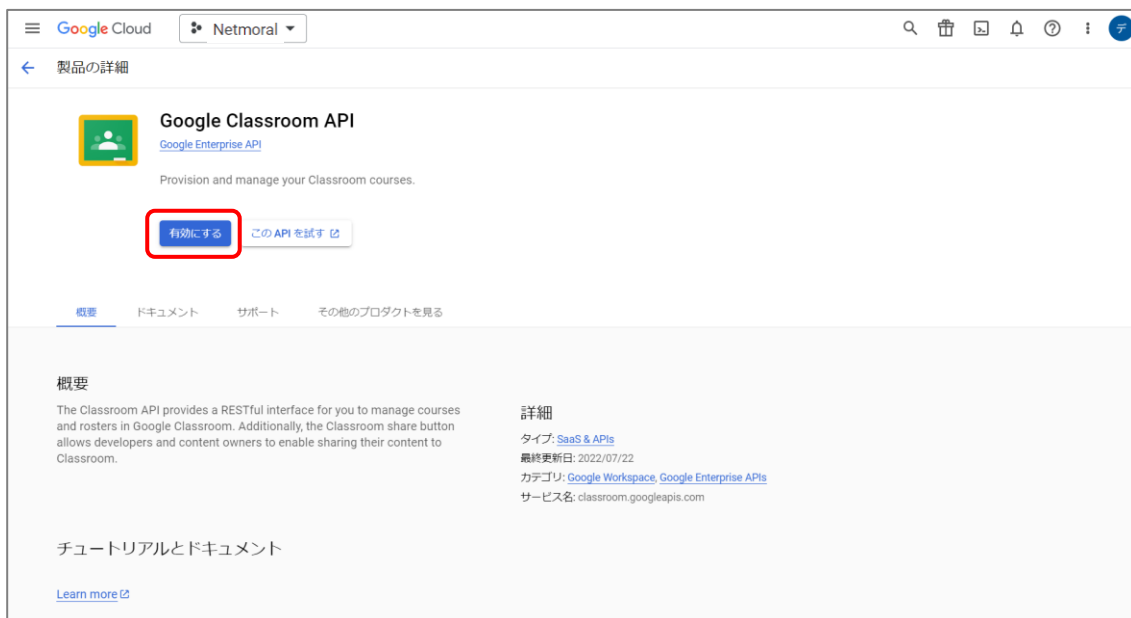


” classroom” と検索します。

2) サービスアカウントの設定



” Google Classroom API” を選択します。



APIを「有効にする」を選択します。

2) サービスアカウントの設定

Google Classroom APIを有効化したので
このAPI経由でのドメイン委任を有効にする作業を行います。

Google Cloud Platform 上で [IAM と管理]-[サービスアカウント]を開きます。

Google Cloud IAM と管理

サービスアカウント

プロジェクト「SumiProject1」のサービスアカウント

サービスアカウントは Google Cloud サービス ID (Compute Engine VM、App Engine アプリ、Google 以外で実行されているシステムなどで実行されているコード) を表します。サービスアカウントの詳細をご覧ください。

組織のポリシーを使用してサービスアカウントを保護できます。IAM ロールの自動付与、鍵の作成やアップロード、サービスアカウントの完全な作成など、リスクのあるサービスアカウント機能をブロックすることが可能です。サービスアカウントの組織のポリシーの詳細をご覧ください。

メール	ステータス	名前	説明	キー ID	キーの作成日	操作
netmoral@sumiproject1.iam.gserviceaccount.com	有効	Netmoral	広教教材サービス	netmoral-key-1	2023/02/21	詳細を管理

「詳細を管理」を選択します。

Google Cloud IAM と管理

Netmoral

詳細設定

ドメイン全体の委任

ドメイン全体の委任によって組織のデータへのアクセス権をこのサービスアカウントに付与する場合には、注意深く行う必要があります。元に戻すには、サービスアカウントを無効化または削除するか、Google Workspace 管理コンソールからアクセス権を削除します。

クライアント ID: [redacted]

GOOGLE WORKSPACE 管理コンソールを表示

Google Workspace Marketplace OAuth クライアント

この OAuth クライアントの作成は、ドメインでの Google Workspace Marketplace のインストールをサポートするために必要であり、慎重に使用する必要があります。Google Workspace Marketplace は、プロジェクト内のすべての OAuth クライアントに権限を付与する場合があります。この操作を元に戻すには、サービスアカウントを無効にするか削除するしかありません。

詳細設定のドメイン全体の委任を確認します。
クライアントIDをコピーし、「管理コンソールを表示」を選択します。
※管理コンソールにはドメイン管理者でなければ入れません。

2) サービスアカウントの設定

※このページからはGoogle Workspace管理コンソールでの作業です。
管理権限をお持ちでない場合は、必ず管理者との作業をお願い致します。

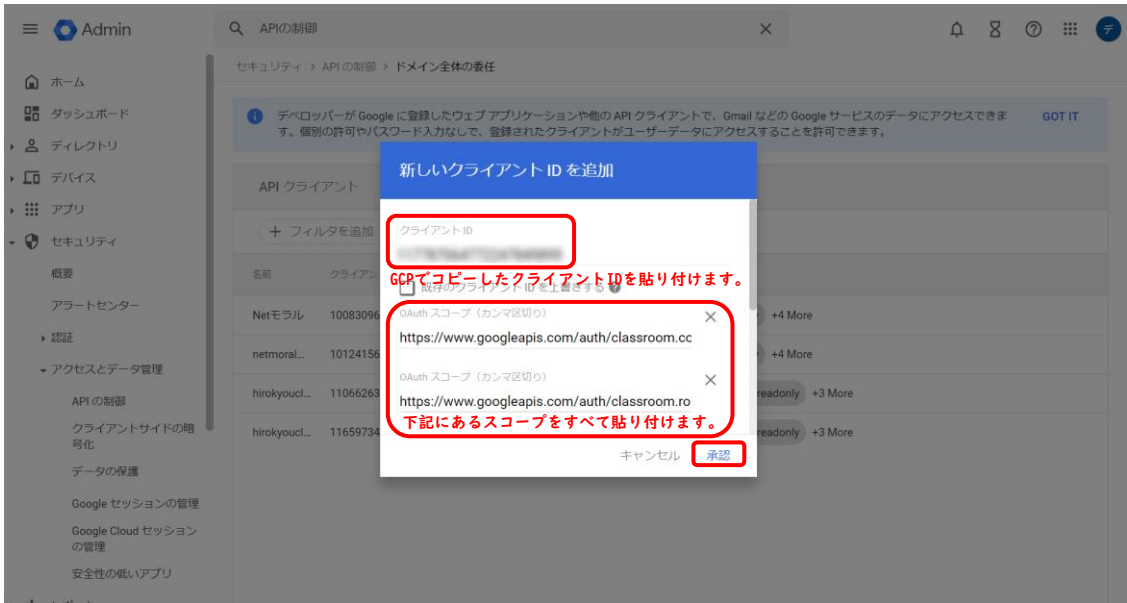


管理コンソールの検索機能で「APIの制御」を検索します。
ページ下部の「ドメイン全体の委任を管理」を選択します。



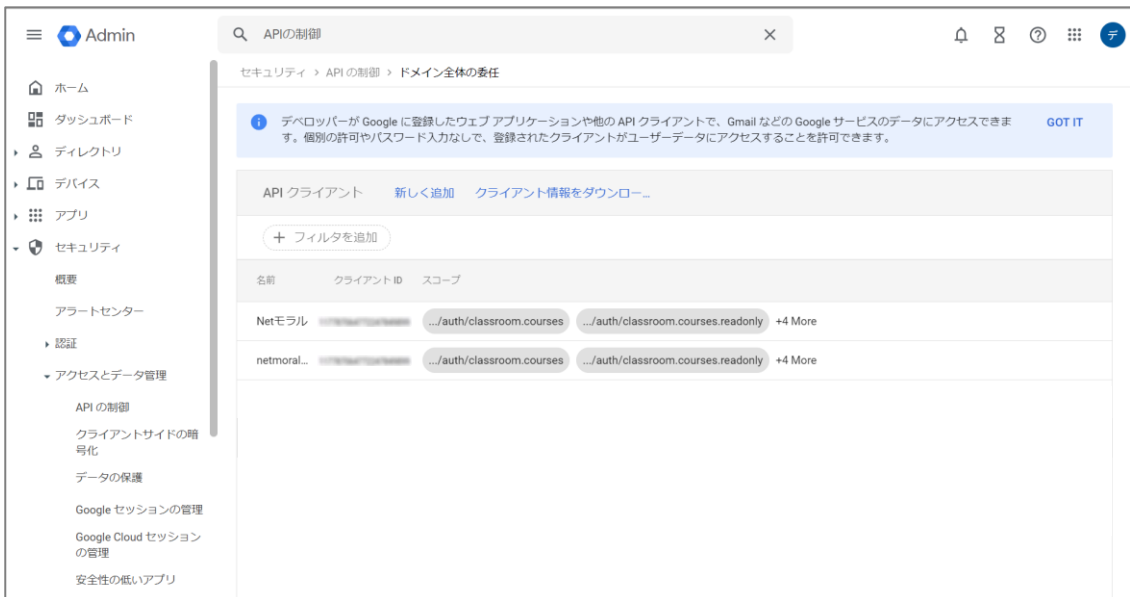
「新しく追加」を選択します。

2) サービスアカウントの設定



■ 広教システムの場合は、Google Classroom のコース一覧、各コースのメンバー（先生／生徒）を取得したいので次のスコープを設定。

- <https://www.googleapis.com/auth/classroom.courses.readonly>,
- <https://www.googleapis.com/auth/classroom.rosters.readonly>,
- <https://www.googleapis.com/auth/classroom.profile.emails>,
- <https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.orgunit.readonly>,
- <https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly>



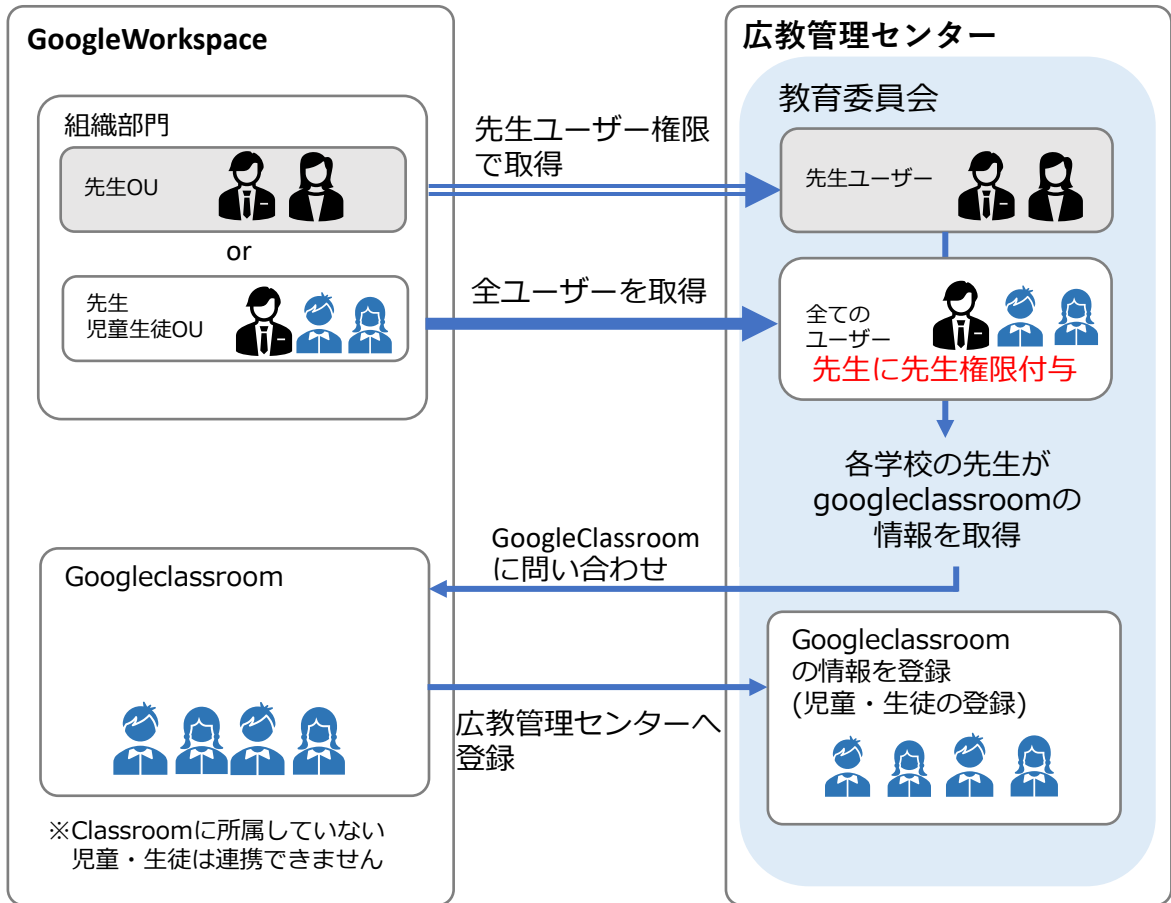
ドメイン全体へAPI有効化できました。

3) 広教管理センターの設定

広教管理センターでは、①、②どちらかの作業を行います。

- ①先生のみが所属するOUの場合は先生権限でユーザー取得
- ②先生、児童・生徒が混在するOUの場合は、全てのユーザーを取得
その後先生権限を付与
- ③その後各学校の先生がGoogleClassroomの情報を取得

イメージは下図をご覧ください。



広教管理センターにログインするため、連携のお申込みをいただいた際に教育委員会ID/パスワードを発行致します。

<https://admin.hirokyou.net/login>

上記URLサイトよりログインしてください。

～メモ欄～

教育委員会ID :

教育委員会pass :

3) 広教管理センターの設定

Google Cloud Platrormでダウンロードした認証ファイル(.JSON)のアップロード



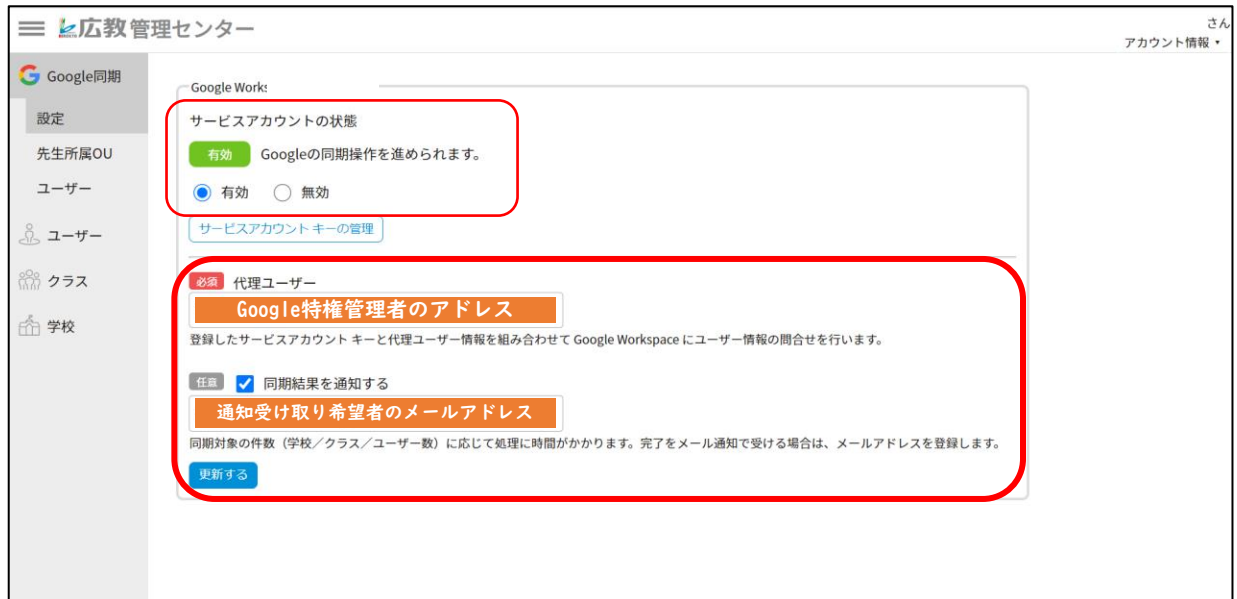
左メニューバーの「設定」から「サービスアカウントキーの管理」を選択します。



「ファイルを選択」から、事前にGCPからDLしたサービスアカウントキー（拡張子がjsonのファイル）を選択します。
「アップロードする」を選択し「設定に戻る」で戻ります。

3) 広教管理センターの設定

Google特権管理者のアドレスと同期結果通知アドレスの設定



サービスアカウントの状態が「有効」になっているのを確認します。
次に「代理ユーザー」にGoogleの特権管理者のアドレスを入力し「同期の結果を通知する」にチェックを入れ、同期結果を受け取るメールアドレスを入力します。

組織部門からGoogleユーザーの同期

【注意】



GoogleWorkspaceの組織部門に「先生のみが所属するOU」がある場合と「先生、児童・生徒が混在するOU」の場合では設定方法が異なります。

⇒ 【先生のみが所属するOUがある場合】

P22の「OUから先生のみを取得する方法」へお進みください。
ユーザーを先生権限で取得します。

⇒ 【先生、児童・生徒が混在するOUの場合】

P23下の「全ユーザーを同期して先生権限を付与する方法」へお進みください。
全ユーザーを取得後、先生のみ先生権限を付与します。

3) 広教管理センターの設定

【OUから先生のみを取得する方法】はここからはじめます。



左メニューバーの「先生所属OU」から「組織部門を取得する」を選択し、組織部門の情報を取得します。



組織部門が表示されます。先生が所属するOUすべてにチェックをつけ「チェックした項目を先生ユーザーが所属する組織部門として設定」を選択します。

3) 広教管理センターの設定



「先生OUを設定しました。次にユーザー連携に進みます。」とメッセージが表示されたらユーザーの同期に進みます。

【全ユーザーを同期して先生権限を付与する方法】はここからはじめます。



「同期を開始する」を選択した後、作業が完了するまで少々時間を要します。
(同期するデータ量によって所要時間は変わります)

連携が完了しますとご登録頂いたメールアドレスに通知が届きます。
万が一、エラーが発生した場合は当社サポートセンターへお問い合わせください。

左メニューバーの「ユーザー」から「同期を開始する」を選択します。
※同期処理はバックグラウンドで行われるので、広教管理センターを閉じても問題ありません。

3) 広教管理センターの設定

「全ユーザーを同期して先生権限を付与する方法」で同期をした後、先生にのみ先生権限を付与します。

学校区分	所属	ユーザー名	メール	権限	編集
小学校	新垣小学校	涼太渡辺	watanaberyota@gedu.demo.hirokyou.net	児童・生徒	編集
小学校	新垣小学校	健一高橋	takahashikenichi@gedu.demo.hirokyou.net	児童・生徒	編集
小学校	新垣小学校	智弘小長谷	konagayatomohiro@gedu.demo.hirokyou.net	先生	編集

同期したユーザーに先生権限を付与します。
「一括ダウンロード」で全ユーザーのデータをExcelのファイルでダウンロードします。

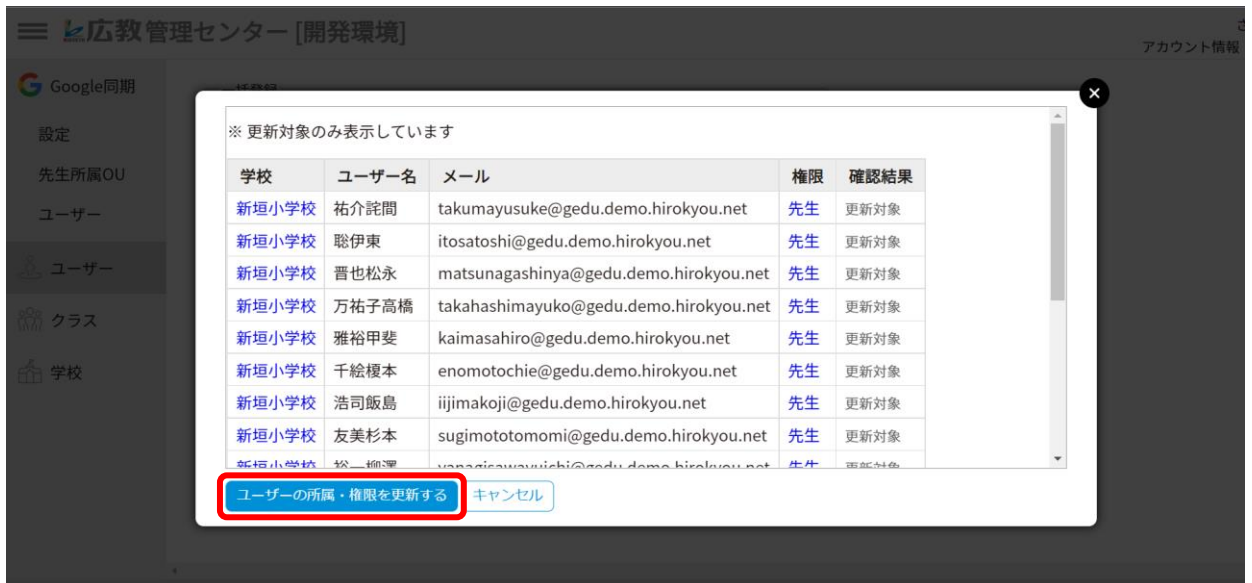
所属	ユーザー名	メール	権限
祐介詫間	takumayusuke@gedu.demo.hirokyou.net		先生
聡伊東	itosatoshi@gedu.demo.hirokyou.net		先生
晋也松永	matsunagashinya@gedu.demo.hirokyou.net		先生
万祐子高橋	takahashimayuko@gedu.demo.hirokyou.net		先生
健一高橋	takahashikenichi@gedu.demo.hirokyou.net		先生
綾子金澤	kanazawaayako@gedu.demo.hirokyou.net		先生
雅裕甲斐	kaimasahiro@gedu.demo.hirokyou.net		先生
正一服部	hattorishoichi@gedu.demo.hirokyou.net		先生
淑美星野	hoshinoyoshimi@gedu.demo.hirokyou.net		先生
美鈴甲斐	kaimisuzu@gedu.demo.hirokyou.net		先生
洋輔川合	kawaiyosuke@gedu.demo.hirokyou.net		先生

「一括ダウンロード」したExcelの表です。
先生ユーザーの「権限」項目に「先生」と記入します。
「所属」は左メニューバーの学校名を表示し、その学校名と同じ名前を入力後Excelを任意の場所に保存します。(所属は任意)
※「所属」を記入していると、初回の各学校の先生がクラス、学校登録するときの学校選択が省略できます。

3) 広教管理センターの設定



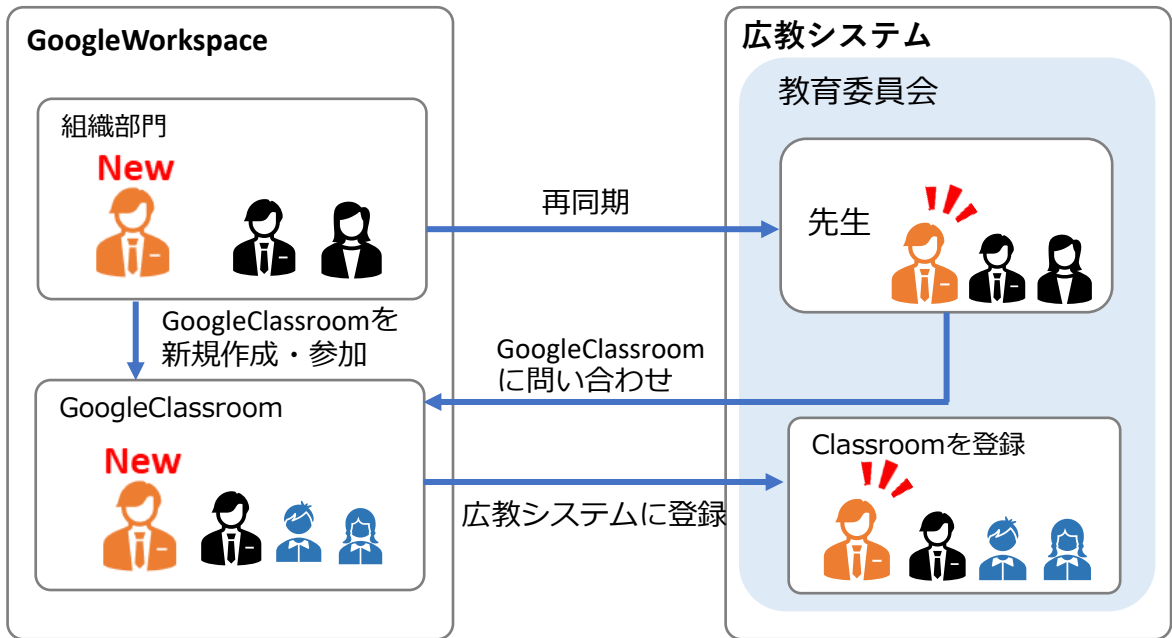
「一括更新」を選択します。
「ファイルを選択」から任意の場所に保存したExcelファイルを選択し「ファイルをアップロード」を選択します。



更新対象が表示されます。この内容でよろしければ「ユーザーの所属・権限を更新する」を選択します。

3) 広教管理センターの設定

新たな先生のGoogleアカウントを登録します。



新しいアカウントをGoogleWorkspaceの先生が所属する組織部門に登録します。その後同期処理を行います。

同期方法については同マニュアル、21ページ下へお進みください。

※今までその自治体にGoogleアカウントが無く新たに登録する場合は組織部門に所属させた後、再同期します。自治体内での移動の場合は該当する学校のGoogleClassroomに参加または新規作成をします。

学校の登録クラス選択は、各学校の先生が行います。

「学校登録クラス選択マニュアルVer1.7」へお進みください。

事例で学ぶ Netモラル

[お問い合わせ]

Google連携サポート担当

Mail : sys_support@hirokyou.co.jp TEL : 082-291-1088

※本資料に記載するGoogle並びに、Google Workspace・Google Classroom・Google Admin Console
Google CloudPlatformは、Google Inc.の商標です。

※本マニュアルに掲載されております画面は、2024年3月時点のものです。
Googleの操作画面は予告なく変更される場合がございます。
あらかじめご容赦ください。